

山口大学

学生特別支援室だより

News Letter

SSR宇部分室の紹介

学生特別支援室(SSR)は、障害等のある学生への修学支援のための学内拠点です。

平成27年に吉田キャンパスに設置され、平成29年9月には、常盤キャンパスに「学生特別支援室 宇部分室」が設置されました。さらに平成30年度から小串キャンパスでの対応を開始しています。

SSR宇部分室の利用について

学生特別支援室の宇部分室では、カウンセラーが常駐して、業務にあたっています。毎週火曜日は、小串キャンパスでの相談対応を実施していて、吉田・常盤・小串の3キャンパス間で連携しながら、全学での障害学生修学支援の充実を図っています。

◆開室時間

月曜日～金曜日 11:00～18:00（祝日を除く）

◆宇部分室相談対応スタッフ

柳下 雅子 カウンセラー（臨床心理士）

田中 亜矢巳 カウンセラー（臨床心理士）

◆火曜日（11:00～18:00）は、柳下カウンセラーが、小串キャンパス（医学部 医心館2階）にて相談対応しています。

◆問い合わせ先

メール：shien@yamaguchi-u.ac.jp（SSR共通）

電話：0836-85-9037（SSR宇部分室）

曜日	常盤キャンパス (SSR宇部分室)	小串キャンパス (医心館2階)
月	柳下	—
火	田中	柳下
水	柳下	—
木	柳下	—
金	柳下	—

柳下カウンセラーからのメッセージ

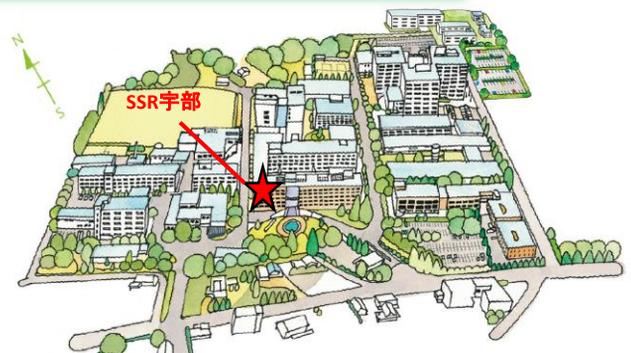
日ごろは 常盤キャンパスの分室や小串キャンパスで、障害等のある学生の修学支援に関わる相談対応や、支援の調整等を行っています。

学部先生方には、日ごろからご協力いただき、ありがとうございます。先生方のご理解・ご配慮があることで、学生が安心して授業や研究に取り組む環境が整うと感じています。今後とも連携を、よろしく願いいたします。

特に工学部・医学部の学生は、2年次以降、キャンパスを移ってから会うことがあるかもしれません。先生方や事務の方など周りの方々に、事情を知っていただいても、できることが増えるかもしれません。

学生特別支援室では、支援室の利用方法や山口大学の支援の仕組みについての説明もしています。

お気軽にご相談ください。



□ 常盤キャンパス（宇部分室）

〒755-8611 宇部市常盤台2-16-1

山口大学常盤キャンパス

工学部本館1階102号室

令和2年度 ユニバーサルデザイン展開科目

山口大学では、共通教育科目に「ユニバーサルデザイン展開科目」が設けられ、学生特別支援室のスタッフと教育学部の教員が担当する4科目が開講されています。

各科目は独立した授業ですが、すべての科目を履修すれば、障害や多様性理解、ユニバーサルデザイン、アクセシビリティ支援等について体系的に学ぶことができます。

令和2年度から新たな構成で開講予定です。今回はそれぞれの授業の内容をご紹介します。

「アクセシビリティ支援概論」

基礎知識を
学ぶ！

開講時期	◆ 通常授業：前期前半 ◆ 集中講義：夏期(8月～9月) ※通常授業と同じ内容です
担当者	◆ 岡田菜穂子(学生特別支援室 准教授、コーディネーター)
授業概要	◆ アクセシビリティの基本的な考え方や障害者支援全般について学習する、入門的な講義。 ◆ アクセシビリティやユニバーサルデザイン等に関する基本的な考え方をとおさるとともに、障害を初めとする様々なニーズとその対応についての基礎的・基本的な知識を修得します。
授業計画	◆ 「障害とアクセシビリティ支援」「多様性とアクセシビリティ」「多様なニーズと配慮」「文化・制度・ICTと支援」...等について講義を行います。 ◆ 最終回には、身近なアクセシビリティ支援に関するグループディスカッション予定。
授業形式	◆ 講義中心 ◆ 各回のテーマに即した話題を提供します ◆ 一部、発表やグループワークを実施します。
評価方法	◆ 講義への取組み状況 ◆ 毎回の授業中レポート ◆ 期末課題レポート



「アクセシビリティ・コーディネート演習」

課題解決に
チャレンジ！

開講時期	◆ 通常授業：前期後半 ◆ 集中講義：夏期(8月～9月) ※通常授業と同じ内容です。
担当者	◆ 岡田菜穂子(学生特別支援室 准教授、コーディネーター) ◆ 木谷 秀勝 (教育学部附属教育実践センター 教授、臨床心理士) ◆ 松田 信夫 (教育学部特別支援教育分野 教授、R2年度から同分野 特命教授) ◆ 田中 亜矢巳(学生特別支援室カウンセラー、臨床心理士)
授業概要	◆ 現代社会における多様なニーズについて理解した上で、アクセシビリティの推進、支援のためのコーディネート能力や問題解決能力の育成を目指す演習形式の授業です。
授業計画	◆ 多様なニーズへの対応：多様性とアクセシビリティ、カウンセリングとSSRの相談対応、発達障害と支援...等 ◆ コーディネート演習：大学での授業を想定してアクセシビリティ支援方法を検討します。
授業形式	◆ オムニバス形式で演習を実施 ◆ 各回での話題や問題提起を踏まえて、個人ワークやグループディスカッション、意見交換を行います。後半にはアクセシビリティ支援のためのコーディネート演習を実施する予定です。
評価方法	◆ 演習への取組み状況 ◆ 毎回の授業中レポート ◆ 期末レポート

★基礎知識が必要です！
★「アクセシビリティ支援概論」を履修しておくことをお勧めします！

開講時期	◆「アクセシビリティ支援実習Ⅰ」集中講義：夏期(8月～9月) ◆「アクセシビリティ支援実習Ⅱ」集中講義：春期(2月)
担当者	◆岡田菜穂子(学生特別支援室 准教授、コーディネーター)
授業概要	◆障害のある学生への支援を想定し、多様なニーズを理解するとともに、支援スキルを身につけ、多様なニーズへの対応を目指す実習です。
授業計画	◆実習Ⅰ：特に、コミュニケーションに関わる支援スキルを中心にトレーニング予定 (ノートテイク、簡単な手話、指文字等...) ◆実習Ⅱ：特に、読み書き・操作、移動に関わる支援スキルを中心にトレーニング予定 (点訳、ガイドヘルプ、車いす操作等...)
授業形式	◆基礎的な支援スキルを学ぶ実習です。 ◆意見交換や支援内容の評価も行います
評価方法	◆スキルトレーニング、支援への取り組み状況 ◆毎回の授業中レポート ◆期末レポート



SSR
お薦めポイント

UD展開科目：ここが面白い！

あなたの中の「障害」イメージを問う

「障害」て何だろう。
「障害」にどう向き合うべきなのか。
松田先生の授業では、そんな疑問にまっすぐに向き合います。
自分の中にある「障害」のイメージがどんなものであったのか、気づくかも！？



松田 信夫先生(教育学部特別支援教育分野 教授、R2年度から同分野 特命教授)

脳って多様です！

「発達障害」という言葉をよく聞くようになったけれど、実際にどんなものなのか、知らない人は多いはず。
木谷先生の授業では、脳の多様性という観点から障害についての話が展開されます。多様な脳の“面白さ”を感じられるかも！？



木谷 秀勝先生
(教育学部附属教育実践センター 教授、臨床心理士)

身近な「アクセシビリティ」

「アクセシビリティ」は、障害や福祉に限った言葉ではありません。結構身近な話題なんです。そして以外と気軽にできる支援もありそうです。自分の名前を、指文字で紹介できたら楽しいかも！？



岡田菜穂子
(学生特別支援室 准教授、コーディネーター)

カウンセリングは、言葉だけじゃない

カウンセリングってどんな風に行われるんでしょう。言葉以上に非言語情報が重要！？自然体で話を聞くことが大事！？
目から鱗のカウンセリングポイントを紹介。



田中 亜矢巳カウンセラー
(学生特別支援室カウンセラー、臨床心理士)

アクセシビリティリーダー資格取得を目指しませんか！？

- ◆アクセシビリティリーダーは、アクセシビリティリーダー育成協議会が認定する資格です。個人や社会、環境や状況の多様性をよく理解し、商品やサービス、制度や情報など、様々な文脈においてアクセシビリティ(利用しやすさ、参加しやすさ、分かりやすさ...)の推進により、可能性を開拓できる人材です。
- ◆山口大学では、オンラインで学習できる2級用のプログラムに加え、「ユニバーサルデザイン展開科目」の受講により1級が目指せるアクセシビリティリーダー育成プログラムが整備されています。
- ◆「ユニバーサルデザイン展開科目」に興味があれば、アクセシビリティリーダー資格取得も目指してみませんか。

2019年度 SSRセミナー開催報告

山口大学では、平成19年に「修学に障害のある学生の支援に関する基本方針」を策定し、障害のある学生等への支援を行ってきました。平成25年度にはコミュニケーションサポートルーム(CSR)、平成27年6月には学生特別支援室(SSR)が設置され、平成30年度からは常盤キャンパスの「SSR宇部分室」が本格稼動するなど、学内支援体制の整備も進んでいます。

本学の障害等のある学生のための支援体制整備状況をご報告し、今後の障害学生支援の充実のために何が必要なのかを考える機会として、山口大学学生特別支援室(SSR)セミナーを開催しました。今回は、初の試みとして学外にもアナウンスし、多くの方に参加いただきました。

令和元年度 SSR学生スタッフ 活動報告会 概要

日時	2020年2月7日(金)
場所	共通教育27番教室
概要	13:00- 開会挨拶 学生支援センター長 横山和平 13:05-13:20 「山口大学の障害学生修学支援体制について」 SSR室長/教育学部准教授 須藤邦彦 13:20-13:50 「山口大学における障害学生修学支援の現状と課題」 SSRコーディネーター/准教授 岡田菜穂子 13:50-14:00 質疑応答 14:00-14:30 学生特別支援室 見学
参加者	27名(他大学支援担当者、高等学校教諭、就労移行支援事業所スタッフ等)



参加者からは、
「山口大学での障害学生支援の実情や支援の流れが知れて参考になった」
「学生特別支援室での相談対応/支援件数の多さに驚いた」
「障害学生のための修学支援体制や支援拠点があることで、学外からも相談しやすいのでは」
「もう少し時間を取ってゆっくり詳細な説明を聞きたかった」などの感想をいただきました。
ご参加いただき、誠にありがとうございました。



音声認識技術を活用した情報保障デモンストレーションを実施

セミナーでは、音声認識技術を活用した情報保障のデモンストレーションを行いました。

- 使用アプリケーション: Live Talk(富士通)
- アプリケーションで、発言者の音声認識して活字に変換して表示します。
- セミナーでは、音声認識した内容をサブスクリーンに投影して披露しました。



<問い合わせ先>

山口大学 学生特別支援室(SSR)

利用時間: 10:00~18:00(土日・祝日を除く)

場所: 共通教育本館1階

TEL: 083-933-5256

E-mail: shien@yamaguchi-u.ac.jp

